

事後評価アンケート結果

整理番号	H24 - 3
------	---------

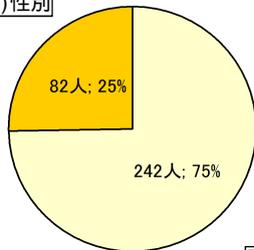
事業名	国道改築事業	箇所名等	国道101号追良瀬バイパス(深浦町)
-----	--------	------	--------------------

アンケート対象	1.住民 (1)沿線地域住民(深浦町追良瀬地区・轟木地区他/計300部) (2)主要観光施設従業員(かそせいか焼き村 行合崎海岸(キャンプ場) 円覚寺 岡崎キャンプ場・岡崎海岸 八森山町民の森公園 ウエスパ椿山 十二湖コミュニティセンター アオーネ白神十二湖 十二湖ビジターセンター 森の物産館「キヨロロ」 十二湖リフレッシュ村 JR十二湖産直施設(観光案内所) 不老不死温泉/計79部) 2.事業者 (1)観光バス会社ドライバー(三八五バス 青森観光バス 弘南バス 白神観光バス/計20部) (2)運送業者ドライバー/計37部 (3)救急隊員(鯉ヶ沢地区消防事務組合消防本部職員/計15部) (4)深浦町内主要診療所職員(深浦医院 深浦町国民健康保険関診療所 村山医院/計40部)		
配布方法	(1)沿線地域住民:直接配布(379部) (2)その他(事業者):郵送配布(112部)	(配布部数)	491部
回収方法	郵送回収(切手貼付)	(回収部数)	327部
回収率	66.60%		

アンケート結果

回答者属性

Q)性別

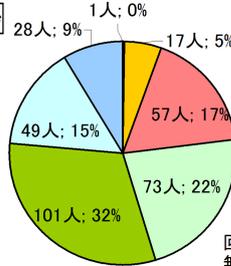


回答数: 324
無回答: 3

□男性 □女性

グラフ-1

Q)年齢

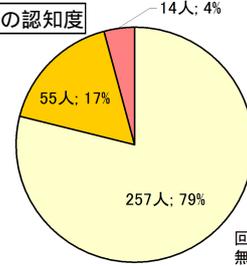


回答数: 326
無回答: 1

□20歳未満 □20代 □30代 □40代 □50代 □60代 □70歳以上

グラフ-2

Q)事業の認知度

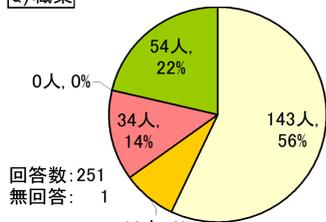


回答数: 326
無回答: 1

□事業を知っている □場所を知っている □知らない

グラフ-3

Q)職業



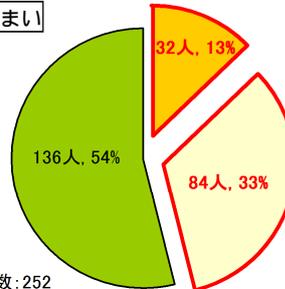
回答数: 251
無回答: 1

□お勤め □自営業 □農林水産業 □学生 □その他

「職業」は事業者への設問対象外項目

グラフ-4

Q)住まい



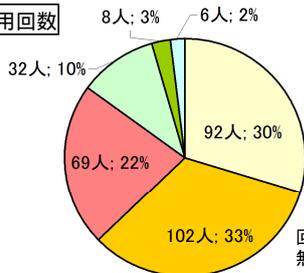
回答数: 252

■ I期工区(事業評価該当工区)沿線集落
■ II期工区(現在施工中工区)沿線集落
■ 町内その他

「住まい」は事業者への設問対象外項目

グラフ-5

Q)利用回数

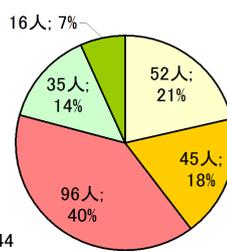


回答数: 309
無回答: 18

□ほとんど毎日 □月に2~3回 □利用したことがない □週に2~3回 □あまり利用していない □わからない

グラフ-6

Q)利用目的



回答数: 244
(うち重複回答: 53)
無回答: 78

□通勤・通学 □業務 □買物 □通院 □その他

「利用目的」は事業者への設問対象外項目

グラフ-7

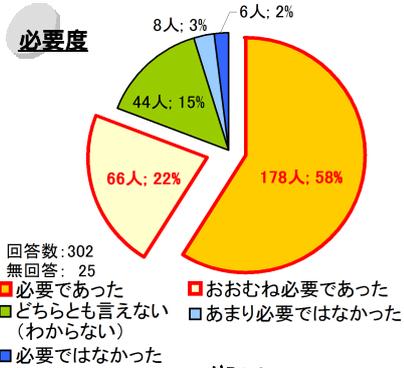
事後評価アンケート結果

整理番号	H24 - 3
------	---------

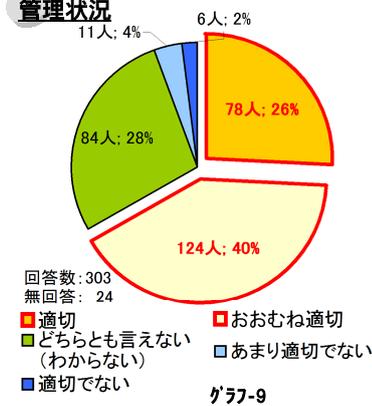
事業名	国道改築事業	箇所名等	国道101号追良瀬バイパス(深浦町)
-----	--------	------	--------------------

アンケート結果

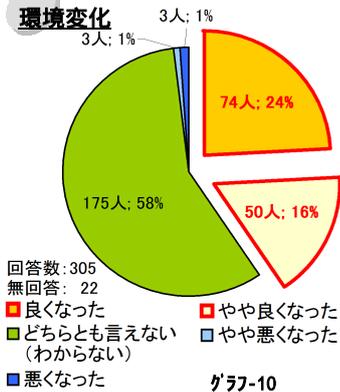
必要度



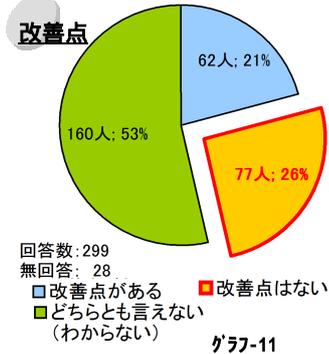
管理状況



環境変化



改善点



Q)地域にとってこの追良瀬バイパス事業は必要であったと思いますか。

回答者の **8割(244人/302人)** がバイパス整備の必要性を感じている

- 主な意見**
- 必要(おおむね必要)であった理由
- 《急カーブ、急勾配、幅員狭小の解消とそのことによる冬期交通の安全確保》
 - ・「旧道は道が狭く、急カーブで、急勾配で部落の道でもあり運転しづらかったが、バイパスは走りやすいです」
 - ・「冬期になると轟木地区の坂道で事故が多発した」
 - ・「轟木・奥入瀬集落内は道がせまく、とても危険だったから」
 - 《リダンダンシー確保》
 - ・「災害等で旧101号の母沢の橋が壊れたら交通が遮断される」
 - ・「災害が起きたときに、一本道だと不便だし、津波等が来ても高所にあるので安心だと思う」
 - 《時間短縮》
 - ・「救急病院への時間短縮ができてよかった。また、カーブ等も少なくなり、搬送の利便性が向上した」
 - ・「時間の短縮になるし、旧道より走りやすい」
- 必要(あまり必要)ではなかった理由
- 《時間短縮が不十分》
 - ・「出来たことで大幅に時間短縮したわけでもなかった」
 - 《利用しない》
 - ・「わざわざバイパスを利用することもないので」

Q)追良瀬バイパスは青森県が管理しておりますが、管理は適切に行われていると思いますか。

回答者の **7割(102人/303人)** が管理状況が適切と判断

- 主な意見**
- 適切(おおむね適切)であった理由
- 《問題がない》
 - ・「現時点で不備が見当たらない」
 - ・「道路の凹凸がなく沿道の草等がキレイに刈られているから」
 - 《除雪が一部不十分》
 - ・「冬期間の除雪にやや不満(たまに吹きだまりがある)」
- 適切(あまり適切)ではなかった理由
- 《落下物撤去が不十分》
 - ・「路上に落下物があってもしばらくの間(半日くらい)片付けていない」

Q)事業の実施により、周辺環境の状況は、事業実施前と比べてどう変化したと思いますか。

環境が悪くなったと回答した人はわずか **2%(6人/305人)**

- 主な意見**
- 良く(やや良く)なった理由
- 《騒音・振動軽減》
 - ・「夜間交通に関しては騒音が少なくなり、住環境が良くなった」
 - ・「特に騒音、振動がなくなり大変よくなりました」
 - 《景観向上》
 - ・「橋から見える西海岸がとても良くなったと思う」
 - ・「景色にとけこんでいる」
- 悪く(やや悪く)なった理由
- 《現道取り付け部の騒音・振動増加》
 - ・「騒音・振動について、当該バイパスと現道との交差点(深浦側)は、バイパスから現道への進入の際、一時停止となり、騒音と振動が発生するため、一部周辺の民家ではうるさいと思う」

Q)追良瀬バイパスの工事や完成した施設について、改善した方がよいと思う点がありますか。

改善点があると回答した人は **2割(62人/299人)** 程度

- 主な内容**
- ・「冬期の陸橋上の安全確保(凍結・強風対策)」
 - ・「夜間の灯りがもう少し欲しいので、反射板などの設置数、箇所の配慮をお願いしたい。」
 - ・「追良瀬側の現道との交差点ですが、通行量から見るとバイパス側が圧倒的に多いので、現道(旧道)側を一時停止にすればいいのではないか」
 - ・「終点のカーブが急でその先の工事を早急に望む」
 - ・「バイパスから轟木部落への連絡路の標示・街灯があると良いとおもう」

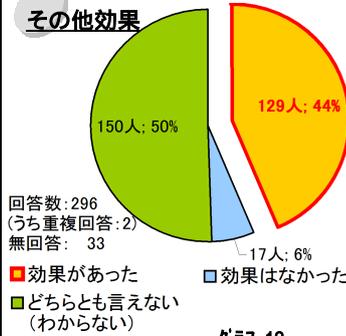
事後評価アンケート結果

整理番号 H24 - 3

事業名	国道改築事業	箇所名等	国道101号追良瀬バイパス(深浦町)
-----	--------	------	--------------------

アンケート結果

その他効果



Q)追良瀬バイパスの完成により「患者さんの負担が軽減された」など、「事業目的」に掲げたもの以外に効果があったと思いますか。

回答者の4割(129人/296人)が事業目的以外の整備効果を実感している

主な内容

- ・「火事のときに消防車が混雑せず集結できた」
- ・「物流の助けとなったこと。警察・消防の緊急車両の移動に助けとなっていること」
- ・「患者さんの負担が軽減された」
- ・「集落内を通らないので交通事故(人身)等の抑制につながっている」
- ・「運転にゆとりと安心ができました」
- ・「運転快適点UP。誇りとする海岸美としてもう1つ加わった。他の町の人を乗せていて、すばらしいところだと喜んでくれたことがうれしかった」
- ・「他町村(区域外)の流入に良いイメージが発現し、ふるさとへの帰省回数が増えた」
- ・「幅も広く走りやすく、歩道も広く運動で歩く人も多く利用しています」
- ・「景色もよよし、運転が楽になった。非常によかったです」
- ・「現在のバイパスのみでは、本来の効果は薄いと思う。深浦本町まで完成したときに最も効果を実感している」

Q)現在、追良瀬バイパスは「期工事」として広戸漁港方面への延伸工事を実施しています。引き続き、国道101号の道路整備は今後も必要だと思いますか。

回答者の8割(241人/288人)が追良瀬バイパスの延伸整備を望んでいる

主な意見

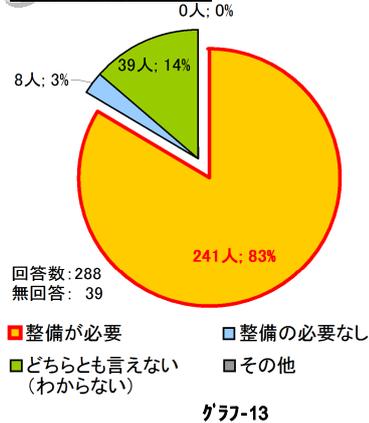
必要(概ね必要)な理由

- 《現道の越波回避》
 - ・「追良瀬から広戸までは海が近いので波が来ると交通が止まるので早く必要です」
 - ・「追良瀬から広戸方面は秋から冬、春まで強風、波が道路まで上がり、自動車のガラスに小石や波しぶきが被り通行の妨げになります。そのためにもバイパスは必要だと思います」
- 《急カーブ・急勾配・幅員狭小区間の解消》
 - ・「急カーブがとても危険。救急搬送時、一般車両が脇へ移動できないため必要だと思う」
 - ・「期工事区間の国道は急勾配・急カーブが多く大きなネックです。また通称薬師社あたりと追良瀬橋の狭間に住民も車も悲鳴をあげている」
 - ・「追良瀬地区には他の地域では見られない様な急カーブ、急な坂が未だに残っている。(国道としては今の時代考えられないくらいです)」
- 《リダンダンシーの確保》
 - ・「西海岸は国道101号が1本しかないので道路整備は必要だと思います。追良瀬バイパス 期工事だけでも早く完成して下さるようお願い致します」
 - ・「バイパスがなければ、もしもの災害時に孤立してしまう可能性がある」
- 《その他》
 - ・「整備を待ち望んでいます。追良瀬バイパス同様、景観・魅力UPにつながります。広戸まで延長となれば、深浦本町までは勾配のある怖い道のイメージがかなり改善され、他町村の人でも気軽にドライブしてくれると思います。もちろん日常利用するものにとってはとてもありがたいです」
 - ・「現状の追良瀬部分の出口だと、一時停止があるなど時間のロスがある。」

必要(あまり必要)ではない理由

- 《利用しない》
 - ・「利用しない」

今後の整備について



追良瀬バイパス整備に関するその他意見

主な意見

《早期全線供用》

- ・「現在の区間が開通して便利になったが、その先の追良瀬川を渡る区間が通ってこそ、本来の目的を果たすものと考えます。未開通部分の整備が何年も先になるのでは、現在区間の事業効果は評価に値しません。集中投資して、より効果の高い事業計画を検討してください」
- ・「期工事の完成が何よりも楽しみです。頑張ってください」
- ・「冬場でも安心して走行できる道を一刻でも早く作ってください」
- ・「最近全国的に災害等が発生しているため、追良瀬橋1本で繋がれている国道なので、早め延伸着工を願いたい」
- 《現道沿線商店の売上減少》
 - ・「道路が新しくなるのは良い事だけど、旧道にある村の商店が売れなくなり、少しかわいそうになる」

公共事業全般に関するその他意見

主な意見

《事業内容の明確化・必要事業の早期実施》

- ・「むだな事業はいらないが、安全・安心な交通網の整備は高齢者・女性にとっても願っている財産だと思います」
- ・「県としては、地域のために色々考えてくださいますが、まだまだ力添えが必要だと思います。南郡の発展に比べ西部は半分もない」

《維持管理》

- ・「道路が作られて便利になるのはありがたいが、その後の点検・修繕なども引き続ききちんとして欲しい」
- ・「事業実施後のケアを十分に考慮してもらいたい。(作りっぱなしではなく、その後の保全もやってほしい)」
- ・「草が生い茂る時期は道路脇の草刈を早めに、かつ密にしてほしい。道路が実質狭くなり、圧迫感があり、運転しづらい。地元住民にも観光客にとっても主要幹線である国道101号は道路脇のゴミが目につき(車から投げたもの)、よくない面があるのも現状です。清掃作業についても検討をお願いしたい」

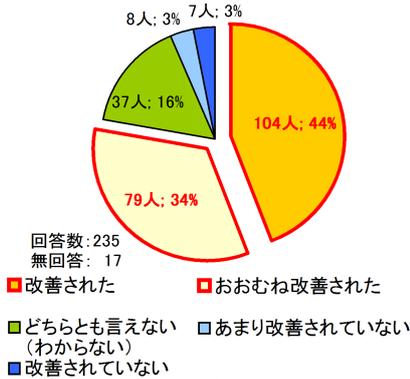
事後評価アンケート結果

事業名	国道改築事業	箇所名等	国道101号追良瀬バイパス(深浦町)
-----	--------	------	--------------------

アンケート結果

達成度1:【住民・主要観光地従業員への設問】

Q) (追良瀬バイパスの完成結果を見て、下記の事項は改善されたと思いますか)
・現道の通過交通が減少し、安心して歩けるようになったかどうか



住民の **8割 (183人/235人)** が現道の通過交通が減少し、歩行者の安全性が改善されたと回答

主な意見

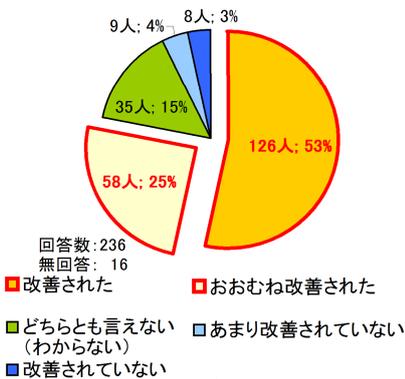
改善(概ね改善)された理由

- ・「轟木地区以外の方はバイパスを利用するため現道の交通量はすごく減りました。暴走車両もなくなりたいへん助かっております」
- ・「旧道をあまり車が走らない。特に大型トラック(11t車)。子供の交通安全上特に良い」
- ・「一定区間ではあるが、渋滞が緩和された」
- ・「民家、保育所前等を通行する機会が減った」
- ・「交通量はあまり変化ないが、集落がない分は安全だと思う」

改善(あまり改善)されなかった理由

- ・「深浦方面へ早くつづきのバイパスができないと、終点近くで混雑するから」
- ・「普段はそうでもないが、夏場は交通量も多くなる」

Q) (追良瀬バイパスの完成結果を見て、下記の事項は改善されたと思いますか)
・バイパスを利用することで急カーブや急勾配がなくなり、運転が楽になったかどうか



住民の **8割 (184人/236人)** が急勾配・急カーブが解消され、運転の負担が軽減されたと回答

主な意見

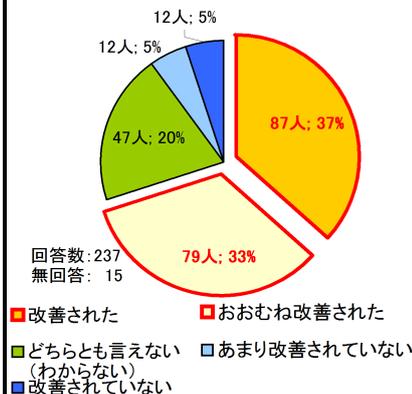
改善(概ね改善)された理由

- ・「特に轟木寄り、急カーブ、急勾配であることから、バイパスができたことにより運転が楽になった」
- ・「冬によく大型トラック等が轟木の坂で登れなくなっていたが、バイパスが出来たことで冬の通行止めがなくなった」
- ・「運転は楽になりましたが、スピードの出し過ぎによる事故が心配です」
- ・「移動時間が短縮された」
- ・「道路が広くなり直線が多くなった為、スピードを出す車が多い！」

改善(あまり改善)されなかった理由

- ・「追良瀬川以南まで整備しなければ十分な達成とは言えない。バイパスから旧道への接続地(追良瀬側)が危険」
- ・「急カーブが未だ改善されていない」

Q) (追良瀬バイパスの完成結果を見て、下記の事項は改善されたと思いますか)
・バイパスを利用することで冬でも安心して運転できるようになったかどうか



住民の **7割 (166人/237人)** が急勾配・急カーブが解消され、冬期交通の安全が改善されたと回答

主な意見

改善(概ね改善)された理由

- ・「幅が広がったので除雪による狭さもなくなり安心して運転できる」
- ・「轟木駅方面に来ると轟木集落に入る急勾配で冬はスリップして上がれない車がよくありましたが、今は追良瀬バイパスが通れるので大変良くなったと思います」
- ・「冬はこの道路も同じだが、道は融けていても橋がなかなか融けていないので、風の強い日の下りは気をつかう」
- ・「急カーブがないため、見通しもよく、冬期間運転が楽になった」
- ・「旧道、海側の冬場通行時の危険性が減ったように思われる」
- ・「冬場の外出機会が増えた」

改善(あまり改善)されなかった理由

- ・「追良瀬川以南まで整備しなければ十分な達成とは言えない。特に追良瀬の坂はまったく改善されていない」
- ・「強風のため旧道を通ることもあった」
- ・「風が強い事。下り坂が緩やかではあるが長い」

事後評価アンケート結果

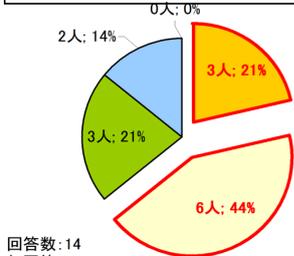
整理番号 H24 - 3

事業名	国道改築事業	箇所名等	国道101号追良瀬バイパス(深浦町)
-----	--------	------	--------------------

アンケート結果

達成度2: [観光バス会社ドライバーへの設問]

Q) (追良瀬バイパスの完成結果を見て、下記の事項は改善されたと思いますか)
 ・バイパスを利用することで白神山地など観光地へのアクセスが向上したかどうか



観光バス会社ドライバーの **7割(9人/14人)** が観光地へのアクセスが改善されたと回答

主な意見

改善(概ね改善)された理由

- ・「時間的に、また眺めも良くなったと思う」

改善(あまり改善)されなかった理由

- ・「新青森駅からですが、あまりにも白神山地が遠くて、1日も早い高規格道路を完成させて下さい」

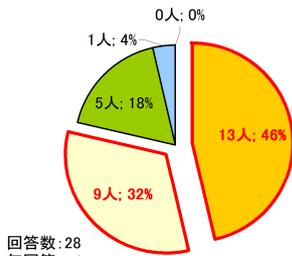
回答数: 14
無回答: 1

■改善された ■おおむね改善された ■あまり改善されていない ■どちらとも言えない(わからない) ■改善されていない

グラフ-17

達成度3: [救急隊員・主要診療所職員への設問]

Q) (追良瀬バイパスの完成結果を見て、下記の事項は改善されたと思いますか)
 ・バイパスを利用することで急カーブや急勾配がなくなり、搬送者や患者の負担が減ったかどうか



救急隊員・主要診療所職員の **8割(22人/28人)** が急カーブ・急勾配が解消され、搬送者と患者の負担が軽減されたと回答

主な意見

改善(概ね改善)された理由

- ・「ブレーキをかける場所が減り、車体の揺れも防げる。車幅も拡がり追い越しが楽になった」
- ・「安定した走行が出来るようになった」

改善(あまり改善)されなかった理由

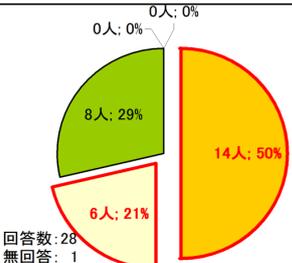
- ・「追良瀬側の出入口のT字路を曲がる時、出入口の車両が見えにくい。轟木駅の十字路で駅側の国道より来る車両が見えにくい」

回答数: 28
無回答: 1

■改善された ■おおむね改善された ■あまり改善されていない ■どちらとも言えない(わからない) ■改善されていない

グラフ-18

Q) (追良瀬バイパスの完成結果を見て、下記の事項は改善されたと思いますか)
 ・バイパスを利用することで冬期の搬送や往診等が楽になったかどうか



救急隊員・主要診療所職員の **7割(20人/28人)** が急カーブ・急勾配が解消され、冬期搬送の負担が軽減されたと回答

主な意見

改善(概ね改善)された理由

- ・「カーブでの減速回数が減ったぶん時間短縮」
- ・「ブレーキをかける場所が減ることでスリップも防げる」

どちらとも言えない(わからない)理由

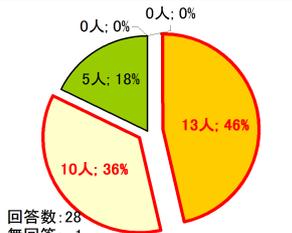
- ・「利用しない」
- ・「冬期間は吹雪と路面状況が見えにくいので、凍結等が分かりにくい」

回答数: 28
無回答: 1

■改善された ■おおむね改善された ■あまり改善されていない ■どちらとも言えない(わからない) ■改善されていない

グラフ-19

Q) (追良瀬バイパスの完成結果を見て、下記の事項は改善されたと思いますか)
 ・バイパスを利用することで歩行者の飛び出しなどを気にする必要がなくなり、救急車両の運転の負担が減ったかどうか



救急隊員・主要診療所職員の **8割(23人/28人)** が現道の通過交通が減少し、歩行者の安全性が改善されたと回答

主な意見

改善(概ね改善)された理由

- ・「歩行者の飛び出しに関しては改善されたと思う」
- ・「歩行者の飛び出しは気にする必要はないが、車両の進入を気にする必要がある」

どちらとも言えない(わからない)理由

- ・「利用しない」

回答数: 28
無回答: 1

■改善された ■おおむね改善された ■あまり改善されていない ■どちらとも言えない(わからない) ■改善されていない

グラフ-20

事後評価アンケート結果

整理番号 H24 - 3

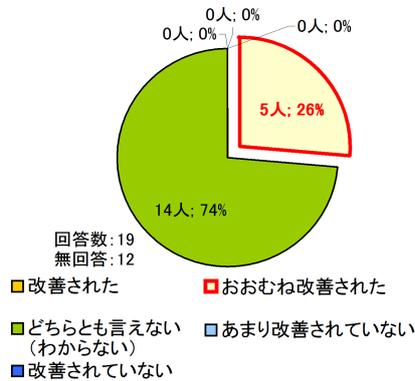
事業名	国道改築事業	箇所名等	国道101号追良瀬バイパス(深浦町)
-----	--------	------	--------------------

アンケート結果

達成度4: [運送業者ドライバーへの設問]

Q) (追良瀬バイパスの完成結果を見て、下記の事項は改善されたと思いますか)
 ・バイパスを利用することで急カーブや急勾配がなくなり、荷傷みが減ったかどうか

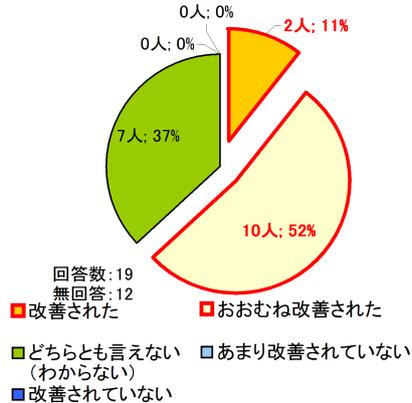
運送業者ドライバーの **3割(5人/19人)** が荷傷みが軽減したと回答



グラフ-21

Q) (追良瀬バイパスの完成結果を見て、下記の事項は改善されたと思いますか)
 ・バイパスを利用することで大型車どうしのすれ違いや冬期の輸送が楽になったかどうか

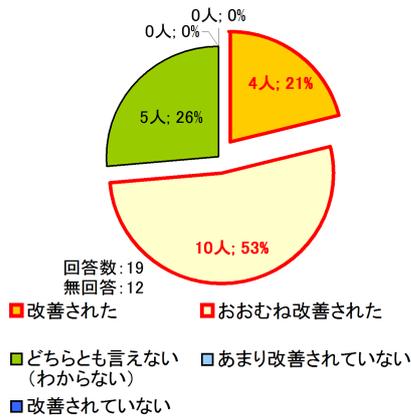
運送業者ドライバーの **6割(12人/19人)** が冬期輸送の負担が軽減したと回答



グラフ-22

Q) (追良瀬バイパスの完成結果を見て、下記の事項は改善されたと思いますか)
 ・バイパスを利用することで歩行者の飛び出しなどを気にする必要がなくなり、運転への負担が減ったかどうか

運送業者ドライバーの **7割(14人/19人)** が歩行者の飛び出しを気にする必要がなくなり運転負担が軽減したと回答



グラフ-23

自由意見の記載なし

(別紙)

事後評価箇所状況写真

(7 / 10)

整理番号 H24 - 3

事業名	国道改築事業	箇所名等	国道101号追良瀬バイパス(深浦町)
-----	--------	------	--------------------

旧道部写真(バイパス整備前)



旧道部写真(バイパス整備後)

(写真1)



(写真2)



(写真3)



(写真4)



(写真5)



(写真6)



事後評価箇所状況写真

整理番号	H24 - 3
------	---------

事業名	国道改築事業	箇所名等	国道101号追良瀬バイパス(深浦町)
-----	--------	------	--------------------

(写真7)



麴木地区の現道の危険さを伝える新聞記事
(東奥日報 平成18年1月11日)

▼菅江真澄の道「寛政10(1798)年、藩から薬草採集を命じられた真澄は追良瀬の山々を回って、麴木に1泊する」。駅南側の案内柱では、江戸時代の紀行家・菅江真澄の足跡を紹介している。現在、近くでは母沢川に架かる全長406mの麴木大橋(仮称)が建設中。完成後は国道101号のバイパスとなり急こう配緩和による冬季の安全性が期待される。

深浦町麴木の理容業木村昭男さん(65)は地名の由来は諸説あるが「馬三頭で引かないと登れないほどの急坂がある」との言い伝えもある。店から駅まで歩いて十分だが、坂道だし、国道の車を避けるのが危険だ。冬はちよつと危険だ。

バイパス部写真

(写真8)



追良瀬バイパス開通により、現道の急勾配と急カーブが解消されたことを伝える新聞記事
(東奥日報 平成19年10月31日)

国道101号2バイパス開通

夕陽海岸大橋で難所解消



深浦町の追良瀬・田野沢の追良瀬バイパスと田野沢バイパスが31日、開通した。開通に先立ち、追良瀬バイパスで記念式と追良瀬地区をつなぎ、

典が行われ、県民など関係者約七十人が出席、完成を祝った。六丁の夕陽海岸大橋が建設され、急こう配と急カーブが解消された。開通を前に、総事業費は約二十八

(写真9)



(別紙)

事後評価箇所状況写真

(9 / 10)

整理番号 H24 - 3

事業名	国道改築事業	箇所名等	国道101号追良瀬バイパス(深浦町)
-----	--------	------	--------------------

(写真撮影箇所位置図)



費用対効果分析説明資料

整理番号 H24 - 3

事業名	国道改築事業	箇所名等	国道101号追良瀬バイパス(深浦町)
-----	--------	------	--------------------

【費用対効果の算定内容】

1. 費用対効果の算定根拠

算定の考え方は『公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針(共通編)』(平成21年6月 国土交通省策定)による。
 また、具体的な算定手法については『費用便益分析マニュアル』(平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)によった。本マニュアルにおいては、社会的余剰を便益(B)とし、整備に係る総費用及び維持修繕費を現在価値に割り引いたものを費用(C)として評価するものである。
 また、『道路整備事業における県独自の費用便益分析実施要綱』(平成22年3月 青森県 県土整備部 道路課)により、追加便益及び地域修正係数を考慮した。

2. 事業全体の投資効率性

(1) 道路整備に要する費用(便益を算出する事業延長 L=2.40km)

C: 総費用 = 5,437 百万円

総費用算出根拠

道路整備に要する費用から消費税及び用地取得に要する費用を除いたものに、供用後50年間の維持管理費を加えたものを現在価値化したもの。

(単位: 百万円)

区分	事業費	用地費	維持修繕費	総費用 - +
費用	3,641	185	595	4,051
現在価値	5,160	32	309	5,437

(2) 道路整備による便益

B: 総便益 = 8,461 百万円

B': 修正総便益 = 12,750 百万円

総便益算出根拠

道路整備によりもたらされる社会的余剰として、整備後50年間、各項目について整備がなかった場合の費用から整備があった場合の費用を除いた額を便益として、それぞれ現在価値化したものの合計。

地域修正係数(津軽地方生活圏: 1.507)を乗じて、修正便益を算出。

(単位: 百万円)

区分	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	冬期便益	防災便益	総便益 + + + + +
費用	9,697	715	106	2,124	1,491	14,133
現在価値	5,347	393	59	1,171	1,491	8,461

地域修正係数	修正総便益
1.507	12,750

【費用対効果分析の結果】

費用便益比 B/C (事後評価時点) = 8,461 百万円 / 5,437 百万円 = 1.56

修正費用便益比 B'/C (事後評価時点) = 12,750 百万円 / 5,437 百万円 = 2.35

平成13年度継続箇所 再評価結果

事業名	おいらせ 追良瀬バイパス(国道101号)		事業区分	一般国道	事業主体	青森県
起終点	自:青森県 <small>にしつがる</small> 西津軽郡 <small>ふかうら</small> 深浦町 <small>とどろき</small> 轟木 至:青森県 <small>にしつがる</small> 西津軽郡 <small>ふかうら</small> 深浦町 <small>おいらせ</small> 追良瀬				延長	2.4 km
事業概要						
<p>一般国道101号は、青森県青森市と秋田県秋田市を結び、広域交流の促進及び沿線市町村の連携強化を図る延長約115Kmの主要幹線道路であり、西海岸地域の生活道路であるとともに、津軽国定公園、津軽岩木リゾート地区への観光アクセス道路としての役割もあわせもっている。</p> <p>また、災害時の緊急輸送道路(第2次)として主要な路線となっている。</p> <p>追良瀬バイパスは、急勾配、急カーブ、幅員狭小等の隘路区間の解消を図ることにより、交通の安全確保、物資輸送の円滑性・確実性等幹線道路の機能を確保し、あわせて地域の活性化に資することを目的として延長L=2.4kmのバイパス事業に平成3年度着手したものである。</p>						
H3年度事業化	都市計画決定		—	H3年用地着手	H5年工事着手	
全体事業費	約30億円	事業進捗率	37%	供用済延長	— km	
費用便益比	B/C	1.3	総費用	36億円	総便益	47億円
基準年 H13						
再評価時の評価指標チェック項目例						
<p>II-(3) 地域づくりの支援・・・2次生活圏中心都市(五所川原市役所)と深浦町役場間の移動に相当時間を要する(78分) 地域連携プロジェクトを支援(津軽岩木リゾート)</p> <p>IV-(1) 道路の防災対策・・・緊急輸送道路ネットワーク計画に位置付け(2次) ・危機管理の充実 現道に防災点検要対策箇所が存在(3箇所)</p>						
事業の進捗状況・事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
<p>用地買収については、共有地の取得及び相続手続に長期間を要したが、H9までに共有地の買収を完了し、相続手続についてもH12末に完了の見込みで進捗率は95%となる。残りは筆界未定の3筆のみとなっている。</p> <p>工事については、H12まで改良工事約920m、橋梁工事は下部工5基完成させ、工事の進捗率は33%となる予定である。</p>						
今後の見通し						
<p>未取得用地の筆界未定(3筆)については、境界確定時期を見極め最終的には事業認定・収用等による対応を検討していく。</p> <p>工事については、橋梁工事に期間を要するため完成予定はH17となるものの、完成後は幹線道路としての機能を確保し、地域活性化等に効果が見込まれることから、継続して事業を進め事業効果の発現を図っていきたい。</p>						
対応方針	継続					

様式2(第3関係)

公共事業再評価調書

(1/3)

整理番号 H17-21

担当部課名	県土整備部 道路課	電話番号	017-734-9651
		E-MAIL	doro@ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 (年)	再評価後 (5 年)	その他 ()
---------	-----	------------	--------------	---------

1 事業概要

事業種別	道路事業	事業主体	県 市町村 其他 ()				
事業名	国道改築事業	地区名等	国道101号 追良瀬バイパス 市町村名 深浦町 (旧深浦町)				
事業方法	国庫補助 県単独 財源・負担区分	国 55% 県 45% 市町村 % 其他 %					
採択年度	平成3年度 (用地着手 平成3年度 / 工事着手 平成5年度)						
終了予定年度	平成18年度 (平成15年2月工期変更 当初計画時 平成17年度)						
事業目的	<p>・一般国道101号は、青森市を起点とし、五所川原市、つがる市、鯉ヶ沢町を經由し秋田県秋田市に至る延長約20.9kmの幹線道路である。(3種2級、設計速度60km/h)</p> <p>・2次医療圏の中核病院である五所川原市立西北中央病院への搬送時間の短縮を図り、さらに、高規格道路である津軽自動車五所川原I.Cへの定時性、定速性を図るとともに、地域の産業・経済・観光事業の活性化に寄与するものである。</p> <p>・追良瀬バイパスは、人家連担部で幅員狭小(W=5.0m 6.5m)、急カーブ(R=60m 400m)急勾配(l=9% 5%)の連続した隘路区間を解消し、交通の円滑化、安全性の確保を図る。</p>						
主な内容	区 分	再評価時	再々評価時	増 減			
	計画延長	2,400 m	2,400 m	0 m			
	計画幅員	6.5(12.0) m	6.5(12.0) m	0 m			
	改良工	1,994 m	1,994 m	0 m			
	舗装工	22,800 m ²	22,800 m ²	0 m ²			
	橋梁工	1 基	1 基	0 基			
<p>・事業計画については、当初計画時と比較して変更はないが、舗装工、法面工、橋梁部(L=406m)の積算見直しにより、事業費が増となっている。</p>							
事業費	再評価時総事業費 3,031 百万円 (単位:百万円)						
		~14年度	15年度	16年度	17年度	小計	18年度~ 合計
	計 画					3,516	234 3,750
	(うち用地費)	()	()	()	()	(185)	(0) (185)
年 月変更							
実 績	1,744	210	340	800	3,094	656 3,750	
(うち用地費)	(181)	(0)	(4)	(0)	(185)	(0) (185)	

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A)・B・C

事業の進捗状況	事業費割合		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	(うち用地費)		82.5% [/]	88.0% [/]
			(100.0%) [/]	(100.0%) [/]
	主要工種	改良工(1,627百万円)	100.0%	106.7%
(事業費)	舗装工(335百万円)	100.0%	106.7%	
	橋梁工(1,788百万円)	74.3%	79.2%	
説 明	<p>・平成17年度は終点部の一部改良工事と、1期工区の舗装工約L=1.9kmを完了し、橋梁部(轟木大橋)については、上部工を製作・架設して、平成18年度で完了の予定である。</p>			
問題点・解決見込み	<p>・事業を進めるに当たっての阻害要因はなく、平成18年度に完了する予定である。</p>			
事業効果発現状況	<p>・終点部に取付く広域農道が平成18年度の供用予定であり、これと連絡することにより地域の活性化及び他地域との交流・連携が図られるとともに、代替性確保が可能となる。</p>			

(2) 社会経済情勢の変化		(A)・B・C		
社会的評価	全国・本県における評価	<p>[全国の評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成15年10月に閣議決定された「社会資本整備重点計画」では、道路整備事業について、透明性の高い、効果的かつ効率的な道路整備を推進し、社会・経済の活性化と暮らしの豊かさの向上を図ることとしている。 	<p>[県内の評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関が未整備である本県にとって、自動車を主とする交通に頼らざるを得ない状況であるが、県内の道路は未整備区間が多く、さらに豪雪地帯であるため、冬期の安全確保や社会基盤整備としての道路整備に対する要望は多い。 	
	当地区における評価	<ul style="list-style-type: none"> 人家連担部を通る現道が未改良で、平面・縦断線形が不良であることから、特に冬期間において交通障害が発生している。 地域経済を支える幹線道路であり、また、唯一の生活道路ともなっている。 このことから、秋田県能代市以北鱈ヶ沢町までの沿岸市町村長、議会議長で構成される「国道101号整備促進期成同盟会」より早期完成が強く求められている。 		
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 地域の経済活動を支える幹線道路であり、唯一の生活道路ともなっていることから、地域の活性化、民生安定上必要な事業である。 緊急輸送道路ネットワーク計画における第2次確保路線として位置付けられている。 市町村合併を支援する「市町村合併支援道路整備計画」に位置付けられている。 2次医療圏の中核病院である五所川原市立西北中央病院への搬送時間の短縮を図る必要がある。 白神山地等への観光振興支援のため整備が必要である。 		(a)・b	
適時性	<ul style="list-style-type: none"> 深浦町・岩崎村2町村が、平成17年3月31日に合併している。 市町村合併の一体化に資する市町村合併支援道路事業として国から財政上の支援が得られる。 終点部に取付く広域農道が平成18年度の供用予定であり、これと連絡することにより地域の活性化及び他地域との交流・連携が図られるとともに、代替性確保が可能である。 		(a)・b	
地元の推進体制等	<ul style="list-style-type: none"> 秋田県能代市以北の日本海沿岸市町村長及び地元市町村、議会議長等で構成する「国道101号整備促進期成同盟会」より早期整備が求められている。 地元の協力により用地取得が完了している。 		(a)・b	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 現道の通過交通がバイパスへ転換されることにより、歩行者等の安全が確保されるなどの沿道環境の改善が図られる。 緊急輸送道路の確保の面からも大きな効果がある。 道路整備により時間が短縮されることから、水産品輸送等による市場競争力の強化や、経済活動等に大きな効果がある。 旧深浦町・旧岩崎村への観光アクセス性の向上が図られる。 			

(3) 費用対効果分析の要因変化		(A)・B・C		
区分	主な項目	再評価時	再々評価時	増減
費用項目 (C)	(1)事業費	3,056 百万円	4,070 百万円	1,014 百万円
	(2)維持修繕費	490 百万円	344 百万円	146 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	3,546 百万円	4,414 百万円	868 百万円
便益項目 (B)	(1)走行時間短縮便益	4,073 百万円	6,508 百万円	2,435 百万円
	(2)走行費用減少便益	508 百万円	129 百万円	379 百万円
	(3)交通事故減少便益	68 百万円	75 百万円	143 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総便益	4,649 百万円	6,562 百万円	1,913 百万円
B / C		1.31	1.49	
<p>[費用対効果分析手法] (分析手法、根拠マニュアル等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針 (平成16年2月 国土交通省) 費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局) <p>[費用対効果分析における特記事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業費は増加したが、走行速度の見直しにより走行時間短縮便益が増加したため、1.31から1.49に増となった。 				

(4) コスト縮減・代替案の検討状況		(A) · B · C
コスト縮減	<p>【コスト縮減の検討状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路盤材・舗装合材に再生材を使用し、経費の縮減を図っている。 ・盛土材に他工区からの流用土を使用し、経費の縮減を図っている。 ・排水施設等の小規模構造物については極力、工場製品を使用し、工期の短縮及び経費の縮減を図っている。 	(a) · b
代替案	<p>【代替案の検討状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道拡幅案とバイパス案を比較検討した結果、現道拡幅の沿線には補償対象となる家屋が多く立地しているため、家屋移転などにより地域生活に与える影響が大きく、経済的にも不利であると考えられるためバイパス計画とした。 	(a) · b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点		(A) · B · C			
住民ニーズの把握状況	<p>【住民ニーズの把握方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元市町村長等で構成する「国道101号整備促進期成同盟会」より追良瀬バイパスの早期完成を要望されている。 	<p>【住民ニーズ・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該区間は、幅員狭小及び連続した急カーブ・急勾配であることから大型車のすれ違いに支障をきたしている。また、現道には歩道が整備されておらず、円滑な交通と歩行者の安全を確保するためにも、早期の追良瀬バイパス整備が求められている。 	(a) · b		
環境影響への配慮	<p>【地域別環境配慮指針への対応】</p> <table border="1"> <tr> <td>地域区分</td> <td>Tn8c</td> </tr> </table> <p>(1)対応状況 配慮している 配慮していない</p> <p>(2)対応内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浸水等水害防止のため、道路排水側溝・横断Box設計に当たり、十分に余裕を持った断面としている。 ・地震時の耐震対策を橋梁設計に反映している。 ・埋蔵文化財包蔵地近くを本ルートが通るため試掘調査を実施。(結果本調査の必要なしとの結論) ・表土の露出する法面は、在来種により緑化する。 	地域区分	Tn8c	<p>【開発事業等における環境配慮指針への対応】</p> <p>(1)対応状況 配慮している 配慮していない</p> <p>(2)対応内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事を行う際は、低騒音並びに低排出ガス等自然環境へ配慮した建設機械の使用に努めている。 ・大規模の切土掘削及び、盛土法面施工時には、降雨により土砂が流出しないよう、ビニールシート等で防護している。 	(a) · b
地域区分	Tn8c				
地域の立地特性	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地域、振興山村地域、辺地域に指定されている。 ・平成17年3月31日に、深浦町及び岩崎村の2町村が合併をしている。(新町名称:深浦町) ・本路線は、災害対策基本法に基づく緊急輸送道路として位置付けられている。 ・西海岸沿線は、津軽国定公園であり千畳敷海岸、深浦漁港、岡崎キャンプ場、黄金崎不老不死温泉、十二湖リフレッシュ村、世界遺産登録の「白神山地」等の観光地がある。 				

3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続	計画変更	中止	休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての項目がA評価である他、本路線の持つ重要性や沿道環境の改善効果等を総合的に評価すると、着実に事業を推進し、早期に事業効果発現を図る必要がある。したがって、対応方針を「継続」とした。 			
備考				

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき
委員会評価	継続	計画変更 中止 休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見		
評価理由		